

第3節 子育て支援施設

保育所（園）・幼稚園

施設名称	地区	建築年度	評価棟数	延床面積	建物性能		施設の収支		利用・稼働状況	
					老朽化率	耐震性	合計	園児当たり	園児数	定員充足率
佐那具保育所	上野	昭和59年度	1棟	453㎡	57.2%	有	-31百万円	-659,574円/人	47人	62.2%
猪田保育所	上野	平成4年度	1棟	397㎡	54.0%	有	-31百万円	-609,941円/人	51人	85.6%
比自岐保育所	上野	平成元年度	1棟	210㎡	63.0%	有	-20百万円	-1,639,250円/人	12人	41.1%
依那古保育所	上野	昭和57年度	1棟	635㎡	84.0%	有	-29百万円	-444,045円/人	66人	88.0%
依那古第2保育所	上野	昭和50年度	1棟	510㎡	100.0%	有	-31百万円	-936,000円/人	33人	83.3%
神戸保育所	上野	昭和61年度	1棟	543㎡	72.0%	有	-24百万円	-607,525円/人	40人	44.1%
諏訪保育所	上野	平成3年度	1棟	213㎡	57.0%	有	-21百万円	-1,467,643円/人	14人	46.7%
しろなみ保育所	上野	昭和55年度	4棟	869㎡	91.4%	無	-55百万円	-909,000円/人	61人	101.1%
新居保育所	上野	平成9年度	2棟	521㎡	59.8%	有	-40百万円	-446,517円/人	89人	89.3%
柘植保育園	伊賀	昭和58年度	1棟	722㎡	81.0%	有	-25百万円	-716,486円/人	35人	43.3%
柘植第2保育園	伊賀	平成元年度	1棟	930㎡	63.0%	有	-49百万円	-1,121,295円/人	44人	54.6%
西柘植保育園	伊賀	昭和57年度	2棟	889㎡	84.0%	有	-39百万円	-598,000円/人	66人	73.7%
壬生野保育園	伊賀	昭和50年度	2棟	737㎡	95.7%	無	-29百万円	-481,400円/人	60人	85.2%
希望ヶ丘保育園	伊賀	平成6年度	1棟	818㎡	48.0%	有	-25百万円	-485,490円/人	51人	56.3%
島ヶ原保育所	島ヶ原	昭和58年度	2棟	739㎡	63.1%	有	-30百万円	-657,444円/人	45人	75.0%
あやま保育所	阿山	平成8年度	1棟	1,227㎡	30.8%	有	-44百万円	-378,427円/人	117人	83.8%
ともだ保育所	阿山	昭和63年度	1棟	627㎡	48.4%	有	-21百万円	-737,893円/人	28人	40.5%
たまたき保育所	阿山	平成4年度	1棟	685㎡	39.6%	有	-26百万円	-758,794円/人	34人	48.1%
まるばしら保育所	阿山	平成7年度	1棟	608㎡	33.0%	有	-21百万円	-1,049,700円/人	20人	49.2%
大山田保育園	大山田	平成18年度	1棟	1,397㎡	8.8%	有	-49百万円	-403,273円/人	121人	101.1%
さくら保育園	青山	平成15年度	3棟	2,111㎡	32.2%	有	-83百万円	-473,726円/人	175人	92.3%
桃青の丘幼稚園	上野	平成21年度	1棟	1,545㎡	3.0%	有	-29百万円	-153,383円/人	188人	85.5%
合計			31棟	17,386㎡	-	-	-751百万円	-537,856円/人	1,397人	74.3%

＜施設の収支＞

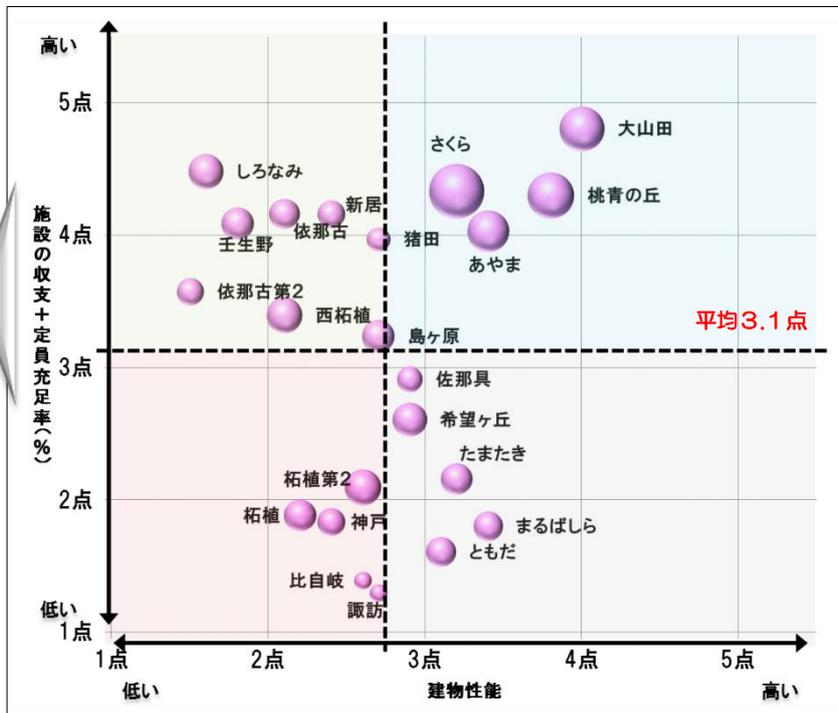
園児一人当たりの維持管理経費が最も小さい施設を5点、最も大きい施設を1点とし、その他の点数は数値に応じて比例配分

＜定員充足率＞

園児数÷定員×100%が最も高い施設を5点、最も低い施設を1点とし、その他の点数は数値に応じて比例配分

＜縦軸の点数＞

(施設の収支の点数×0.3) + (定員充足率の点数×0.7)



<適正配置の方向性>

<協議、検討中の事項>

- 諏訪保育所は、平成26（2014）年に閉園を予定しています。
- 耐震性能が低いしろなみ保育所や壬生野保育園は、建替えや耐震改修などを実施（予定を含む）しています。
- 待機児童の解消に向けて子ども・子育て関連法の施行に伴う保育需要の調査が予定されていることから、地域の保育需要を把握した上で適正な施設数や規模を決定します。

<今後の方向性（案）>

- 保育所（園）の統廃合に関しては、「伊賀市保育所（園）あり方検討委員会」の報告書^{※26}において提示している「中規模園（110人以上）を基本とし、地域性に応じて最小基準の小規模園（55人以上）、最大基準の大規模園（200人程度）とする」考え方を参考とします。
- 園児数10人が保育所（園）の統廃合を検討する際の目安となっていることから、将来の園児数の動向を加味しつつ規模の適正化を検討する必要があります。
- 再編後の旧保育所（園）については、整備時の補助金や起債による制約などに留意しつつ、他用途への転用や更地にしての貸付や売却などの有効活用を検討していきます。
- 私立保育所（園）と連携した保育サービスのあり方を検討していきます。

※26 伊賀市保育所（園）のあり方に関する提言書（最終案）

<http://www.city.iga.lg.jp/ctg/Files/1/52297/attach/teigen.pdf>

放課後児童クラブ

施設名称	地区	建築年度	評価棟数	延床面積	建物性能		施設の収支		利用・稼働状況	
					老朽化率	耐震性	合計	登録者当たり	登録者数	定員充足率
放課後児童クラブ キッズうえの	上野	平成12年度	1棟	137㎡	46.0%	有	-2.0百万円	-51,846円/人	39人	98.3%
放課後児童クラブ フレンズうえの	上野	平成8年度	1棟	131㎡	42.0%	有	-1.8百万円	-58,645円/人	31人	52.2%
放課後児童クラブ 第2フレンズうえの	上野	平成20年度	1棟	146㎡	6.0%	有	-2.0百万円	-63,032円/人	31人	52.2%
放課後児童クラブ ウイングうえの	上野	平成12年度	1棟	145㎡	30.0%	有	-1.1百万円	-37,821円/人	28人	70.0%
放課後児童クラブ ふたば	上野	平成23年度	1棟	219㎡	0.0%	有	0.0百万円	-	-	-
放課後児童クラブ 風の丘	上野	平成17年度	1棟	176㎡	15.0%	有	-1.0百万円	-16,115円/人	61人	101.1%
放課後児童クラブ 第2風の丘	上野	平成20年度	1棟	126㎡	9.2%	有	-2.2百万円	-63,114円/人	35人	57.8%
中瀬放課後児童クラブ ネバーランド	上野	昭和49年度	1棟	94㎡	79.2%	無	-1.4百万円	-99,643円/人	14人	46.7%
放課後児童クラブ 「あっとほうむ」	大山田	平成16年度	1棟	154㎡	13.2%	有	-2.0百万円	-105,368円/人	19人	64.4%
放課後児童クラブ 「げんきクラブ」	青山	平成19年度	1棟	120㎡	12.6%	有	-3.4百万円	-74,600円/人	45人	82.4%
河合小学校区放課後児童クラブ「ポップコーン」	阿山	昭和40年度	1棟	80㎡	99.0%	無	-0.5百万円	-34,063円/人	16人	53.3%
壬生野放課後児童クラブ	伊賀	平成13年度	1棟	40㎡	27.0%	有	-0.6百万円	-57,200円/人	10人	72.5%
柘植放課後児童クラブ	伊賀	平成16年度	1棟	45㎡	25.2%	無	-1.0百万円	-100,900円/人	10人	75.0%
島ヶ原放課後児童クラブ	島ヶ原	平成16年度	1棟	42㎡	13.2%	有	-0.6百万円	-76,375円/人	8人	57.5%
合計			14棟	1,656㎡	-	-	-19.54百万円	-56,300円/人	347人	66.1%

<施設の収支>

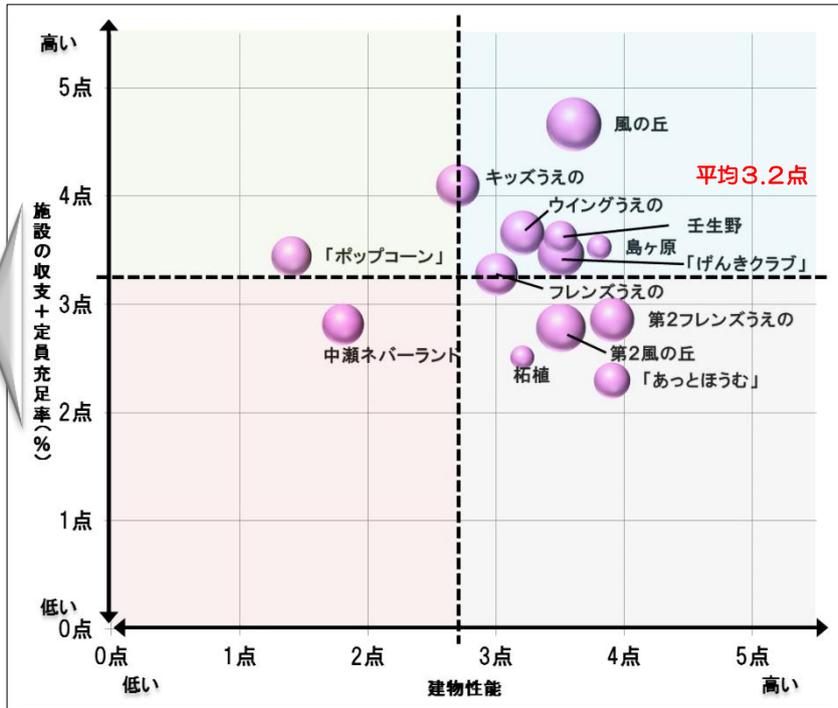
児童一人当たりの維持管理経費が最も小さい施設を5点、最も大きい施設を1点とし、その他の点数は数値に応じ比例配分

<定員充足率>

登録児童数÷定員×100%が最も高い施設を5点、最も低い施設を1点とし、その他の点数は数値に応じ比例配分

<縦軸の点数>

(施設の収支の点数×0.5) + (定員充足率の点数×0.5)



<適正配置の方向性>

<今後の方向性(案)>

- 短期的には需要の増加が見込まれていますが、中長期的な児童数の減少を見据えた施設の整備を行うことが必要です。
- 本市では単独施設として整備されている事例が多いため、今後は中瀬放課後児童クラブなどのように学校の余裕教室などを活用することが考えられます。

子育て支援施設

施設名称	地区	建築年度	評価棟数	延床面積	建物性能		施設の収支		利用・稼働状況	
					老朽化率	耐震性	合計	利用者当たり	利用者数	稼働率
ハイトピア伊賀公共公益施設(4階)子育て包括支援センター	上野	平成23年度	1棟	76㎡	0.0%	有	-	-	-	-
大山田子育て支援センター	大山田	平成18年度	1棟	202㎡	8.0%	有	-5.4百万円	-1,784円/人	3,001人	83.7%
病児・病後児保育室(くまさんルーム)	上野	平成12年度	1棟	77㎡	22.0%	有	-1.6百万円	-13,187円/人	123人	11.3%
しろなみ児童館	上野	昭和45年度	1棟	615㎡	100.0%	無	-25.5百万円	-2,082円/人	12,224人	79.2%
合計			4棟	969㎡	-	-	-32.4百万円	-2,113円/人	15,348人	-

＜施設の収支＞

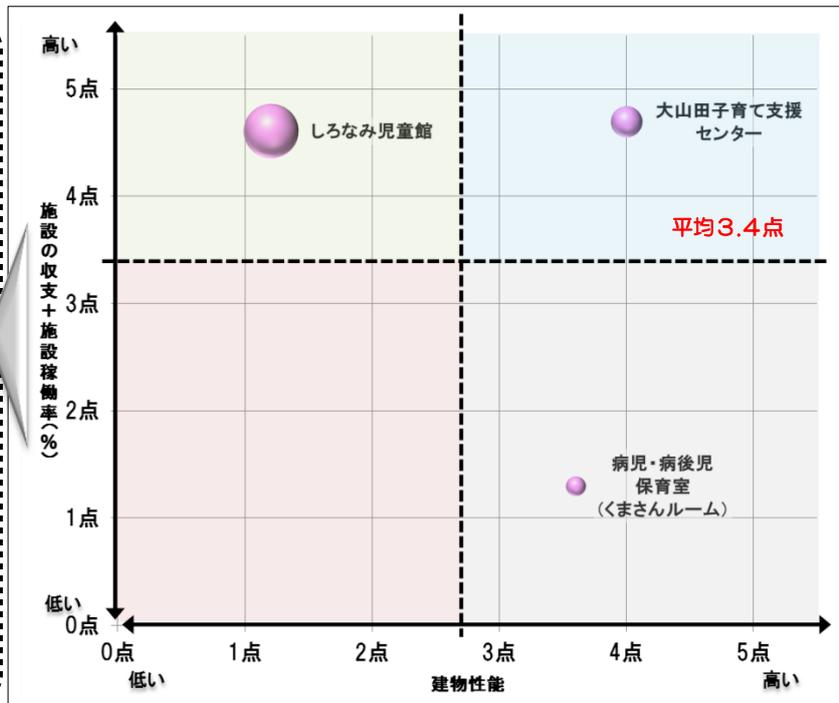
一人当たりの維持管理経費が最も小さい施設を5点、最も大きい施設を1点とし、その他の点数は数値に応じ比例配分

＜施設稼働率＞

利用者数÷定員×100%が最も高い施設を5点、最も低い施設を1点とし、その他の点数は数値に応じ比例配分

＜縦軸の点数＞

(施設の収支の点数×0.5) + (施設稼働率の点数×0.5)



＜適正配置の方向性＞

＜今後の方向性(案)＞

- 子育て支援の拠点として子育て包括支援センター(ハイトピア伊賀)^{※27}が整備されたことで、他の子育て支援センター^{※28}のあり方を検討する必要があります。
- 子育て支援センターは、市内に6施設を設置していますが、大山田子育て支援センターを除く5施設は保健福祉センターや保育所などでサービスを提供する複合施設となっていることから、将来的には施設の複合化を視野に入れた検討を実施する必要があります。
- 現行の使用料の見直しを図り、受益者負担の適正化を検討する必要があります。

※27 ハイトピア伊賀は、平成24(2012)年度に供用開始した施設であり、収支や利用者の情報がないことから、施設評価の対象から除いています。なお、しろなみ児童館を新たに評価対象として加えています。

※28 他の複合施設の一部を利用してサービスを提供しているいがまち子育て支援センター、島ヶ原子育て支援センター、あやま子育て支援センター、青山子育て支援センターは分析の対象から除いています。